

# 高濃増殖炉「もんじゅ」公開ヒアリング阻止！三里塚三勝開拓へ モニタ連続三日連続に決起せよ

全学の学生、教職員の皆さんへ

5月期において我々は足立祭典一世界の人民は勝利する山を開催し、反戦反安保一反核反原子力をプロトコルに、1945.8.8.・8.9.・8.10.・8.11.等によって国内外の様々なものを紹介し、全学の反戦反核の声を結集し、5.22~23東京行動に決起していった。5.23までの時期はいわばこれからの中の準備段階であった。反戦反核のうねりをSSSDIIのみに終わらせないためにも、東京での日韓民衆連帯交流会・全国反原発運動交流会などで学び取った視点をふまえつつ、個別具体的な三勝に決起していく！

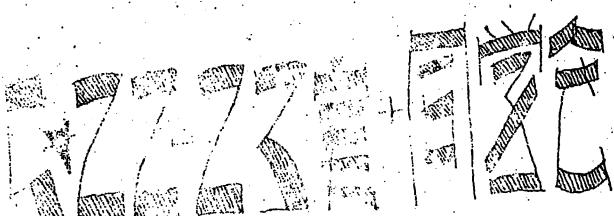
その第一弾として我々は『核も戦争も原発もごめんだ！』吉保をつぶさ！6.13京都府議会山に主体的に参加し、地域との共斗を果たした。国家権力一機動隊の彈圧にも屈せず我々は、反原発抜きの反核はナンセンスであること、そして日米韓軍事一体化へと進む現行保体制を日韓民衆連帯の力で打ち砕いていこうという視点を再度確認した。

3.21広島20万、5.23東京40万と反戦反核の叫びは大きくうねり始めたが、原子力の「平和」利用を許す風潮がいまだに強い。核も原発もヒバクシャを生み出す点では同じだし、「平和」利用は軍事利用に直結している（74年のイントラボ実験は研究用原子炉で行われたルトリウムを用いたものだった）。このことを確認し、反核、反原発を一つのものとしてやっていかねばならない。現に日本は原子力「平和利用」の下で原発・農業・漁業等、独自技術を技術を着実に身につけてきている。そして今組っているのは独自核武装に必要な核燃料サイクルの確立——その重要な環、高濃化装置(FBR)「もんじゅ」である。FBRは、①運転制御が必ずしも核爆発を引きやすい、②高濃半径子による肝の脆弱化、③冷却材である水とナトリウムが反応して

爆発を起こす恐れ、④増殖過程で生産されるフルトリウムが1グラムで百万人殺す猛毒であり長崎型原爆の材料である、などその危険性は、すでに危険性を確認されつつある軽水炉の比ではない（あくまで比較的の問題で軽水炉も経済的に危険）。よって、そこで働く労働者の被曝、環境の放射能汚染は軽水炉の場合以上に深刻なものとなる。また、フルトリウム管理＝核ジック防止を口実として、人民に対する管理を強化し、さらには現在進みつつある治安法体系の強化をも正当化するものとしてあることを忘れてはならない。

政府は来る7月2日に敦賀で第2回公審化アを開き住民の声は聞きましたとい形をアリバイ的に作り、建設にこぎつけようとしている。これに対し、地元・県議はじめ全国の住民労働者学生は、公審化アは「もんじゅ」建設を前提としており、どこも住民の声が反映されるような代物ではなく、これを許せば即ち建設にOKを出すことになる、として絶対阻止の構えである。我々もこれに連帯し、7.2公審化アを阻止し、「もんじゅ」計画を粉碎、核燃料サイクルをおらかじめところぞぶっ切っていこう！

来る7月4日、三里塚全国総大集会が開催される。この日の丁度16年前、政府は閣議で三里塚空港の設置を一斉的に決定したのである。16年間、不屈に斗ってきた農民たちは、二期着工阻止・空港建設の決意を新たにしている。彼らは農民たちが奪われた土地を奪い戻し、現空港に改め上らんと決意した二期用地内農地の闘いを断乎とし、これを主体に担ってい



きたいと考える。そして23に参加、主体的に反戦斗争起ち、更なる全国の斗争との結合を求めていた反対同盟に学び、我々は反戦斗争主体として三里塚斗争に連帯結合していこう。

全ての人が7・2-4連續斗争に決起されんことを訴える。

共にヨイわん!!

### ☆行動提起☆

6・26 「もんじゅ」公用学習会

6・29 三里塚

6・30 三里塚前段総決起  
全京都学生集会

7・2 「もんじゅ」公用ヒアは阻止される

7・4 三里塚現地斗争勝利

さあ、

7・2-4連續斗争へ!

